

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立長沼小学校  
校長名 泉 直 樹 ?

## 平成22年度教育課程について(届)

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

### 記

#### 1 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

自他の命を大切にし、社会に貢献する意欲と態度を養うために、生きる力(確かな学力・豊かな心・健やかな身体)の育成を目指して、次の児童像を設定する。

元気で明るい子供

よく考え創造力のある子供

思いやりのある子供(本年度の重点)

責任を重んずる子供

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 学びの前提として、学年や学級等の経営を充実させ、学び合う集団を作る。

子供が安心して、意欲的に学ぶ教室を作るために

学年や学級等の経営方針に基づき、児童理解と児童相互理解の促進、学年や学級等の情報発信や教育相談的手法による保護者との信頼関係の樹立、学習環境の整備充実等に努める。

心の教育を進め、人間関係調整力の育成に努める。

イ 適切な生活習慣や学習習慣を通して、健康な心身の育成を図る。

授業の充実により、生きる力の育成を図るために

P D C Aのサイクルを意識した意図的計画的な授業を実施し、基礎的・基本的な知識や技能の習熟、問題解決能力の向上に努める。

家庭・地域社会と連携して、適切な生活習慣や学習習慣の形成、食育に努め、生きる力の向上に努める。

ウ 学校環境の整備をし、学ぶ意欲を育てる。

学びやすい、学ぶ意欲の出る学校環境の整備を図るために

美的で安全な環境の整備・学校教育活動が理解できる校内掲示の整備に努める。

小中一貫教育の推進をさらに進め、9年間の学びの環境を整備していく。

特別支援教育の充実を図り、生活や学習上で支援を必要とする児童への対応を進める。

エ 特色ある教育活動を通して、高学年のリーダー性を育てる。(校風作り)

高学年指導を組織的に行い、高学年児童のリーダー性を育成し成就感を味わわせる。

異学年活動や高学年の学習等の発表の場を設定することで、高学年には「達成感」、低学年には「今後の目標(憧れの気持ち)」を育てる。

## 2 指導の重点

### (1) 各教科等

#### ア 各教科

児童の基礎的・基本的な知識や技能の習熟を図る。思考力・判断力・表現力・問題解決能力の育成に努める。そのために、ゆとりある授業時間数の確保と年間計画や週毎の授業計画案に基づいた意図的計画的な授業を実施する。

児童の個性や能力を的確に把握すると共に、児童の主体的活動や考え発表する活動を大切に、少人数指導をはじめとして、様々な学習形態、個に応じた指導の工夫を図る。

学年内等での教科担任制の促進を図り、教師の専門性を生かした授業を展開する。授業後の評価を工夫し達成感を味わわせるとともに、新たな学習意欲を喚起する。児童の健康な心身の育成を図るため、体育授業を中心に、運動量や食事・健康学習等の指導の充実を進める。

#### イ 道徳

ねらいを明確にした、道徳の時間の授業実施と全教育活動の中での工夫で、思いやりの心や規範意識を育てる。

道徳授業地区公開講座をはじめとした道徳授業の積極的な公開を進め、保護者・地域への啓発と理解を深め、連携して児童の豊かな心を育成する。

#### ウ 外国語活動

5・6学年でそれぞれ年間20時間程度、英語の学習を計画実施し、外国語のねらいに即して、言語や文化について理解を深める。

小中一貫教育の連携として、小中教師間交流を図るとともに、コミュニケーション能力を高め、日常生活に活かせる、体験的でより楽しい学習を実施する。

#### エ 総合的な学習の時間

教科学習等の学びを活かして、人とのかかわりを深める学習活動や児童一人一人の自主的発展的な学習活動を展開する。同時に自己表現力や問題解決意欲の向上を図る。

長沼公園・浅川・湯殿川の自然・施設・人々から直接学ぶ体験学習を進め、地域を愛する心を育てる。

#### オ 特別活動

学級活動や委員会活動、学校行事の工夫や充実で、自主性・協力性・責任感等の育成を図る。

話し合い活動の充実を図り、学級や学年、学校の連帯意識の高揚を図る。

高学年児童の責任感と実行力を育てる取り組みを充実させ、下級生の手本となる高学年児童の育成とその高学年を見本として意識し努力する低学年児童をも育成する。長沼小の校風を築いていく。

(2) 特色ある教育活動

全学年縦割り班活動や異学年間交流、併設の特別支援学級との交流等を通じた活動により、人間関係調整力や高学年児童のリーダー性の育成と学びの成就感を体得させる。地域の豊かな自然を活かした体験学習や地域の専門家に学ぶ学習等を推進して、さらには、栽培学習や飼育活動を通して、自然環境を守る意識、人々への尊敬や憧れの心動植物への愛情等を育てていく。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

日常生活における挨拶運動を通して自主的な言動を育てる。

(挨拶・返事・片付け・自他の持ち物の区別・適切な言葉遣い等)

積極的に学校情報を発信し、小中一貫教育の啓発活動を行い、地域・家庭と学校が連携して、児童の適切な生活習慣等の育成に努める。

学年はじめの学級・学年経営の充実に努力し、より良い学習集団を作る。

いじめをなくす取り組み、不登校児童への対応を組織的に実施する。

特別支援教育を推進して、配慮児童や支援を必要とする児童等への対応として、校内委員会の機能を充実させる。

イ 進路指導

地域の人々・地域の諸機関・校内の異学年の交流等を更に進め、また、教師の人間味ある言動を授業に活かし、児童が、人としての生き方や成長に触れ、自己実現を考える機会を拡充する。

小中の連携をさらに進め、段差のない、スムーズな中学校への進学意識を育てる。

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	18	18	23	13	0	21	20	20	17	15	19	17	201
2年	18	18	23	13	0	21	20	20	17	15	19	17	201
3年	18	18	23	13	0	21	20	20	17	15	19	17	201
4年	18	18	23	13	0	21	20	20	17	15	19	17	201
5年	18	18	23	13	0	21	20	20	17	15	19	18	202
6年	18	18	23	13	0	21	20	20	17	15	19	17	201
備考	・5年生は、卒業式参加で1日増加となる。 開校記念日(6月1日)、都民の日(10月1日)は、授業日とする。 6月9月の授業参観は土曜日実施(振替休業日を取らない)												